

	名城大学大学院
DP	<p>名城大学大学院は、「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」という立学の精神に基づき、次の資質・能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <p>①高度で専門的知識及び高い倫理観を身につけ、学術的見地に立って物事の公正な判断をすることができる。</p> <p>②専門分野における研究能力又は高度専門職業人として必要な能力を有し、社会における諸問題の解決のためにその能力を活用できる。</p> <p>③主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、共に成長することができる。</p>
CP	<p>名城大学大学院は、各専攻の教育目標を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、コースワークとリサーチワークを適切に配置し、次のような方針で教育課程を編成し、実施します。</p> <p>①コースワークでは、講義・演習・実験・実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、豊かな学識と高度な専門知識及び高い倫理観を獲得し、物事を正しく理解し表現できるようにする。</p> <p>②リサーチワークでは、研究指導体制を整備することにより、専門分野における研究能力又は高度専門職業人として必要な能力を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。</p> <p>③少人数・双方向の授業体制及び能動的学修の実施により、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。</p> <p>④学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行う。学位論文の審査にあたっては学位論文審査基準を設け、客観性を担保する。また、学生の進路や関心等にもとづく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。</p>
AP	<p>名城大学大学院は、学部又は大学院（修士・博士前期課程）の教育課程等における学修を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受入れます。</p> <p>①大学院での学修の基礎となる確かな基礎学力及び専門分野における十分な知識を修得している。</p> <p>②入学を希望する専攻での学修成果を社会で活かすという目的意識がある。</p> <p>③大学院在学中だけでなく、修了後も学び続ける意欲がある。</p>